

きららタウンでのハヤブサ繁殖の歴史

繁殖するハヤブサを初めて確認

2004年(平成16年)：なぎさ・きらら
 ハヤブサが繁殖のために巣築した建物(ホテルサルスルト)周辺：現在は閑空大津フロント(ホテル)は1996年11月竣工、営業をスタートしています。それから8年目になる2004年、ホテルのペランダの一角でハトの繁殖によって堆積した糞の山でハヤブサが繁殖していることが確認されました。
 その年に確認されたヒナ2羽は無事に巣立っていききました。親たちはどこからやって来たのか、いつからここに巣を構えたのかは不明です。
 のちにメスの親を「なぎさ」、オスの親を「きらら」と呼び、ホテルの従業員や近隣の住民、あるいは日本野鳥の会大阪支部のメンバーにより観察が始められました。



2004年に撮影されたペア 左：なぎさ♀、右：きらら♂

メス親なぎさの失踪

2005年(平成17年)：なぎさ・きらら
 「なぎさ」と「きらら」のペアは卵を4個産みましたが、メスの「なぎさ」に何らかの支障があり途中で抱卵を放棄してしまいました。「なぎさ」はおそらく、異外で事故にあったと思われます。そのうち、別のメス(「いずみ」と呼ぶこととしました。)がやって来てペアを形成しましたが、その年は繁殖しませんでした。



2006年に巣立った幼鳥たち

2代目メスいずみの登場

2006年(平成18年)：いずみ・きらら
 「いずみ」と「きらら」による繁殖の時代が始まりました。また、「ハヤブササポート倶楽部」結成と保護啓蒙活動を開始しました。後に「見守りカメラ」と名付けられた24時間監視カメラを設置、インターネットを通じて観察できるようになりました。この年は4羽のヒナが孵り、1羽は行方不明になりましたが3羽が無事に巣立しました。



2007年に撮影されたペア 左：いずみ♀、右：きらら♂

2007年(平成19年)：いずみ・きらら

ハヤブサの繁殖用の巣箱を設置しました。これまで、ハヤブサはペランダに堆積したハトのフンを巣として利用していたがフンが大量にあることから、そのまま設置することは不潔なので、ホテルの了解を得てハトのフンを取り除き、代わりに巣箱(ペットの用トレイ)を用意し巣箱の内側にハヤブサが止まりやすいように石膏をマルチセメントで固定し巣箱の中に石を敷き表面には砂を入れました。



2007年に生まれたヒナたちと巣立った幼鳥

巣のまわりの様子が大きく変わりましたが、ハヤブサは新しい巣箱と止まり用の岩を入ってくれたようです。2個の卵を産みヒナ2羽が孵化しましたが、巣立ち直後に1羽が事故死。1羽が無事に巣立ちました。

2008年(平成20年)：いずみ・きらら

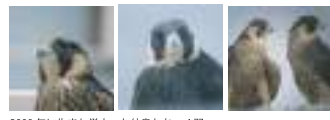
ハヤブサ4羽が無事に巣立ちました。5回目の子育て挑戦のうち最もスムーズに子育てできたのではないかと推測します。4羽の幼鳥たちが、きららタウン内だけでなくフェニックスの埋立地や駅前のタワーマンションの屋上などで見られる期間があり、多くの人がその様子を観察されています。きららタウンでの幼鳥の最終確認日は7月11日でしたが、「いずみ」と「きらら」は、ほぼ毎日鳥のあるペランダに現れています。



2008年生まれのヒナたちに餌を与えるいずみ♀

いずみの負傷と3代目メスそらの登場

2009年(平成21年)：いずみ(→そら)・きらら
 混乱万端の1年でした。「いずみ」と「きらら」のペアによる繁殖が順調に始まりましたが4個の卵を産み始めた14日目に「いずみ」が負傷。「いずみ」と「いずみ」の卵4個を保護しました。保護された4個の卵は篤志家の人工ふ化で2羽のヒナが誕生、そのうち研究施設で育てられて放鳥されました。「いずみ」についても保護された篤志家の動物病院で療養生活を過ごしました。



2008年に生まれ巣立った幼鳥たち、4羽

「いずみ」が居なくなったのに現れたメスの「N子」と「きらら」はペアリングが形成されず、その後現れたメスの「そら」とペアリングが形成されました。



2009年に撮影されたペア 左：そら♀、右：きらら♂

前年と較べると約1ヶ月遅れて再スタートした子育てでしたが、3個の卵が無事にふ化し巣立ちました。そのうち1羽は巣立ち直後にセンタービルの窓ガラスに激突、墜落して死亡しましたが、他の2羽はものにフェニックスの埋立地で地を狩りしているところを確認されました。

2010年(平成22年)：そら・きらら

3月8日に第一卵を産卵。「そら」と「きらら」で交代で抱卵し、4月16日、17日、2羽のヒナが誕生しました。ヒナたちはすくすく成長し、5月28日に2羽、29日に残りの1羽が巣立ちました。最初生まれた1羽は残念ながら30日から行方不明になってしまいましたが、あとの2羽は、そらときららから飛翔や餌の受け渡しなどの訓練を受けながら元気に成長しました。その後9日、巣立ち直後に行方不明になっていた幼鳥と思われる1羽も、他の1羽と一緒にいるところ近くの埋立地で観察されました。



2009年に生まれ巣立った幼鳥たち、3羽の内の2羽

2011年(平成23年)：そら・きらら

3月6日に第一卵を産卵。13日には第四卵目を産卵しました。前年より2日早いペースで今年が始まりました。「そら」がほぼ恒久的に抱卵し、4月13日に2個、14日、15日にそれぞれ1個の卵を、4羽のヒナが誕生しました。巣の中でしめき合いながらヒナたちはすくすく成長し、5月22日に3羽の幼鳥が、24日には最後の1羽の幼鳥が巣立ちました。6月1日には1羽の幼鳥が高速度道路に落ちて死亡、6月2日にはきららから翼を負傷して一時はどうなるかと心配しました。「そら」の訓練を受けて、ようやく立ち立ちできるようになった若ハヤブサ3羽が見えない範囲まで飛んでいくようになりました。



2010年に巣立った幼鳥たち、3羽

この年11月20日放送NHKの番組「ダーウィンが来た! 生き物新伝説」できららタウンのハヤブサ一家として全国へ紹介されました。

2012年(平成24年)：そら・きらら

3月11日、2012年の第1卵を産卵。12日、14日、16日と順調に産卵をして、昨年同様4羽が孵りました。抱卵は順調に進み、4月17日に3羽、翌18日に1羽、今年も4羽のヒナが無事に誕生しました。5月25日には1羽の幼鳥が巣のあるペランダから巣立ちました。5月27日には残りの3羽も巣のあるペランダから巣立ちました。6月現在、昨年のような事故もなく、4羽の幼鳥たちは元気に飛び回っています。



2011年に巣立った幼鳥たち、3羽。他1羽は巣立ち直後に死亡。

2013年(平成25年)：そら・きらら(繁殖失敗)

3月5日に産卵を開始し、順調に4卵を産卵していましたが、抱卵を開始してから6月19日で100日になりました。卵が孵化しないこと、これから暑さが厳しくなり、「きらら」と「そら」が抱卵を継続することにより衰弱することも想定し、卵を取り除きました。残念ながら、今年の子育ては失敗となりました。



2012年に巣立った幼鳥たち、4羽

2014年(平成26年)：そら・きらら

2月7日交尾が初めて確認されました。3月11日、13日16日、18日と産卵。4月17日18日2羽が誕生。第4羽目は遅れて4月24日に誕生しましたが翌日に死亡。5月27日28日2羽が無事に巣立ちました。



2014年に巣立った幼鳥たち、3羽

2015年(平成27年)：そら・きらら

1月22日の交尾確認。3月3日から3月10日にかけて4個の卵を産卵確認しました。4月10日、11日、12日と順調に誕生し4羽そろっ

て成長しました。5月20日から5月22日にかけて巣立ちを確認。そのうちの1羽が巣立った日に高速道路上で車に轢かれて死亡。残りの3羽の幼鳥は「きらら」と「そら」から訓練を受けながらすくすく成長し、7月初旬まで近辺で観察されました。



2015年に巣立った幼鳥たち、4羽(内1羽は交通事故死)

初代オスきららの失踪・きららIIの登場

2016年(平成28年)：そら・きらら(→きららII)
 3月1日から3月9日にかけて4卵を確認しました。抱卵57日目の5月4日を最後に「きらら」が行方不明となりました。5月8日、抱卵開始から60日を経過しても孵化しないので、環境省へ連絡し対応を相談し卵を取り除きました。5月23日、新しいオス(「きららII」)が見守りカメラに写りました。5月24日、「そら」と「きららII」の巣の中ツショットが観察されましたが、この年の繁殖は失敗に終わりました。



2016年からペアとなった。左：そら♀、右：きららII♂

2017年(平成29年)：そら・きららII

1月8日、今年初めての「ごほんプレゼント」が観察されて、順調にペアリングが成立しました。「そら」が3月8日に第1卵、3月11日に第2卵、3月13日に第3卵、3月15日に第4卵を産みました。4月15日に誕生したのは2羽でしたが、すくすくと育ち、5月29日にヒナ2羽とも無事に巣立ちました。7月27日に幼鳥がペランダに来ました。「そら」と「きららII」によって初めての繁殖成功です。
2018年(平成30年)：そら・きららII
 1月27日に手すり上で交尾を確認。順調に繁殖活動が始まりました。3月5日に第1卵を産卵、3月8日、3月10日に第2卵、第3卵を産卵し、抱卵体制開始しました。4月12日、13日に、第1子、第2子が誕生しました。5月22日に1羽の幼鳥、5月26日にもう1羽の幼鳥が無事に巣立ちました。4月11日に第1子、4月12日に第2子と第3子の誕生を確認、14日には第4子も誕生しました。5月23日、2羽が巣立ち、25日に3羽目、26日に4羽目が巣立ちました。4羽目は高速道路線に落ちて死亡しました。巣立ち後も幼鳥たちはセンタービル屋上、マンションの屋根の上、駅前のアルザタワー屋上、ゴルフ練習場ネットフェンス支柱、ヨドコウ工場の屋根の上など近隣のあらゆる場所で遊びながら、朝から飛行訓練を受けていました。



2017年に巣立った幼鳥たち、2羽(他の2羽は孵化せず)

2019年(平成30年)令和1年)：そら・きららII(きららIII)
 1月6日にペランダでのごほんプレゼント確認、1月19日にはゴルフ練習場の支柱上での交尾を確認と順調にスタート。3月5日に第1卵、7日第2卵、9日第3卵、12日に第4卵を確認。久ぶりに4卵での抱卵が開始されました。4月11日に第1子、4月12日に第2子と第3子の誕生を確認、14日には第4子も誕生しました。5月23日、2羽が巣立ち、25日に3羽目、26日に4羽目が巣立ちました。4羽目は高速道路線に落ちて死亡しました。巣立ち後も幼鳥たちはセンタービル屋上、マンションの屋根の上、駅前のアルザタワー屋上、ゴルフ練習場ネットフェンス支柱、ヨドコウ工場の屋根の上など近隣のあらゆる場所で遊びながら、朝から飛行訓練を受けていました。



2018年に巣立った幼鳥たち、2羽(体の大きさを測り「ちーちゃん」「えるちゃん」と呼ばれて親しまれました)

きららIIの失踪、きららIIIの登場

2019年7月28日以降、「きららII」が姿を見せなくなり行方不明となりました。おそらくどこかで事故死したものと思われます。それからすくすく4か月後の11月28日、新しいオスのハヤブサ(「きららIII」)が登場しそらとの新ペア形成が確認されました。なおこの年から従来の観察の観察場所として使用させていたきららセンタービル11階にある阪神高速道路の展望室がカサセルホテルとして使用されることになり使用できなくなりました。やむを得ずきららタウン内の「イカリの広場」を中心とした場所を観察会場確保場所としました。そのため、観察会は雨天中止とすることになりました。



2019年に巣立った幼鳥たち、4羽

2020年(令和2年)：そら・きららIII

前年の11月28日に現れたオスのハヤブサ「きららIII」と「そら」のペアによる初めての繁殖は4個の卵を産み、そのうち3個が孵化し巣立ちました。



2019年にペアとなった。左：そら♀、右：きららIII(1シーズンのみ)

メス親そらの失踪とメスななの登場

2009年以降合計32羽の幼鳥を育てあげた偉大なメス「そら」でしたが、6月未だ姿が見られなくなりました。7月になって新しく登場したメスの「なな」でしたが、一度も繁殖に参加することができず、2021年1月に新たに現れたメスにとかわられました。



2020年に巣立った幼鳥たち、3羽(他の1羽は孵化せず)

メスななとそらの交替

2021年(令和3年)：そら・きららIIIによる繁殖
 新しい登場したメスは「なな」と呼ばれ2021年は4卵を産卵、4月11日までに4羽が誕生し、無事に巣立ちました。この年の幼鳥たちはホテル屋上あるいはマンション群の屋根が主な訓練場所でした。
2022年(令和4年)：そら・きららIII
 3卵を産み2羽が誕生、オス親の「きららIII」が子育て中に負傷を負いましたが、何とか回復しました。5月18日、2羽が無事に巣立ちました。6月20日に保護された動物病院に収容されていた幼鳥を引き取りホテル屋上で放鳥しました。
2023年(令和5年)：そら・きららIII
 4卵を産卵し4羽が誕生、5月14日、5月18日にそれぞれ2羽が無事に巣立ちました。ホテル屋上・マンション群の屋根、ヨドコウさんの工場屋根などで訓練を受けて、6月中旬には大津川の河口付近で狩りの練習を受けているところを観察出来ました。
2024年(令和6年)：そら・きららIII
 4卵を産卵し4羽が誕生、1羽が巣立ち直後に死亡しましたが3羽は無事に成長し朝から訓練を受けました。今年もヨドコウさんの工場の屋根から採石場、ゴルフ練習場付近での訓練が多く早々に大津川での訓練が始まりました。2024年8月9日以降「きららIII」が姿を見せなくなりメスの「きらら」が狩りを守りました。



2020年にペアとなった左、右きららIII

きららIIIの失踪、きららIVの登場

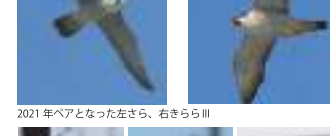
2025年(令和7年)：そら・きららIV
 2025年1月に新しいオスが登場し2月になってようやく新ペアが形成されたようです。新しいオスを「きららIV」と呼ぶこととしました。これからの活躍を期待しています。



2023年に巣立った幼鳥たち、4羽

2004年からの繁殖の記録

年度	メス名	オス名	ペア	卵数	ヒナ数
2004年			そら+きらら	2	2
2005年			そら+きらら	4	0
2006年			そら+きらら	0	0
2007年			そら+きらら	4	4
2008年			そら+きらら	2	2
2009年			そら+きらら	4	4
2010年			そら+きらら	4	3
2011年			そら+きらら	4	3
2012年			そら+きらら	4	4
2013年			そら+きらら	4	0
2014年			そら+きらら	4	4
2015年			そら+きらら	4	4
2016年			そら+きらら	4	0
2017年			そら+きらら	4	4
2018年			そら+きらら	4	0
2019年			そら+きらら	4	4
2020年			そら+きらら	4	3
2021年			そら+きらら	4	4
2022年			そら+きらら	3	2
2023年			そら+きらら	4	4
2024年			そら+きらら	4	4
2025年			そら+きらら	4	4
合計			そら+きらら	72	60



2021年ペアとなった左、右きららIII



2023年に巣立った幼鳥たち、4羽



2024年に巣立った幼鳥たち、4羽



2025年にペアとなった左、右きららIV